

私立学校特別研修会 外国語（英語）教育改革特別部会 〔東日本エリア（東京Ⅱ）〕 実施案内

主催 一般財団法人私学研修福祉会
協力 一般財団法人日本私学教育研究所 / 後援 日本私立中学高等学校連合会

小学校・中学校・高等学校等を通じた英語教育改革を進める文部科学省では、平成26年度より英語教員の英語力・指導力強化を図る観点から、英語指導力向上事業「英語教育推進リーダー中央研修」を外部専門機関に委託し実施しています。同研修は、全国の国・公・私立学校の英語教員を対象にしているものの、公立学校を中心とした研修の仕組みになっていたことから、私学関係者の要望に応じて、文部科学省は平成27年度より私立学校教員が参加しやすいよう受入体制を整備し、私立学校教員も参加できるようになりました。

しかし同時に、次期学習指導要領や大学入学選抜改革を含めて国が進める英語教育改革に係る最新の情報が、私立学校には十分に伝わっていない実情もあり、私立学校教員は公立学校教員に比べ情報量が少ない故に埒外に置かれた感は否めません。

については、私立学校においても、外国語（英語）教員の外国語（英語）力・指導力強化を図るためには、教員が21世紀型教育に相応しい最新の教授法と情報を早急に取り入れる必要があることから、当研究所では、平成27年度より専門家の指導による特別研修「外国語（英語）教育改革特別部会」を実施しており、平成28年度も引き続き、専門家の指導に上記の「英語教育推進リーダー中央研修」受講者の指導によるワークショップを加えて、研修を実施することとしました。

当部会【東日本エリア（東京Ⅱ）】では、初日は、ただ英語ができるだけでなく、物事を客観的にとらえ、英語でも日本語でも自分の考えを伝えることのできる真のコミュニケーション能力をつけるために、有用な英語を身につけるとともに、英語で学び、英語で考える機会を積極的に設け、すべてのコースにおいて、各教科を横断して国際性を育む教育を実施している、工学院大学附属中学高等学校を会場に、授業視察、2016 グローバルティーチャーベスト10に輝いた高橋一也・中学校教頭の実践発表、同校の英語科教員との質疑応答・意見交換会を行います。翌日はリファレンス西新宿大京ビル貸会議室において、鳥飼玖美子先生による講演、私学の新しい英語教育の中核を担うべく文部科学省「英語教育推進リーダー中央研修」に参加した私学教員を指導員に迎え、中央研修で最も関心を持ち、有益と感じた内容について、ワークショップを通して学びます。また、参加者の交流を深めてネットワークづくりを進める情報交換会等、多彩なプログラムを用意しています。

- ◆ 会 期 ◆ 平成28年9月30日（金）～10月1日（土）
- ◆ 会 場 ◆ 工学院大学附属中学高等学校（9月30日）八王子市中野町 2647-2
リファレンス西新宿大京ビル貸会議室（10月1日）新宿区西新宿 7-21-3 西新宿大京ビル 2F
- ◆ 募集人員 ◆ 40名
- ◆ 参加費 ◆ 19,000円（2日目の昼食費を含みます。宿泊費は含みません。）
※宿泊の斡旋は致しませんので、手配はご自身でお願いします
- ◆ 参加対象 ◆ 私立中学校・高等学校・中等教育学校の英語科教諭 ※プログラムの一部は英語で行います。
- ◆ プログラム ◆

① 研究授業 工学院大学附属中学高等学校（授業参観等）

② 実践発表 テーマ 「21世紀型教育を超えて」
発表者 高 橋 一 也 工学院大学附属中学高等学校 中学教頭

“教育界のノーベル賞” 「グローバル・ティーチャー賞」トップ10（日本人初選出）

③ 質疑応答・意見交換 グループでの意見・情報交換を通して課題を探究します。

④ 講 演 演 題 「グローバル時代における英語教師の役割」
講 師 鳥 飼 玖美子 NHK「ニュースで英会話」監修者

⑤ ワークショップ ※ワークショップ後にグループに分かれて意見交換会を行います。

テーマ 「英語で授業のヒント Teaching English in English」（仮）

※文部科学省「英語教育推進リーダー中央研修」受講者が担当します。

指 導	酒 井 眞希子	学 校 法 人 石 川 高 等 学 校	教 諭
	伊 澤 悦 子	駒 沢 学 園 女 子 中 学 ・ 高 等 学 校	教 諭
	田 中 歩	工 学 院 大 学 附 属 中 学 高 等 学 校	教 諭
	中 川 千 穂	工 学 院 大 学 附 属 中 学 高 等 学 校	教 諭
	池 口 勝 裕	米 子 松 蔭 高 等 学 校	教 諭

◆ 日程概要【予定】 ◆

時刻	9 30	10	11	12 10 30	13 25	14 15 30	15 45	16	17
9月30日(金) 工学院大学附属 中学高等学校				受付	開 会 式	研究授業		実践発表	質疑応答 意見交換会
10月1日(土) リファレンス西新宿 大京ビル		講演	ワークショップ	昼食		ワークショップ	意見交換会	閉 会 式	

視察校での写真撮影について

生徒の顔が特定できる写真撮影は禁止とします。撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、参加者個人の SNS やインターネットのサイトへのアップロードは禁止とします。また撮影写真の使用後は速やかに破棄いただきますようお願いします。また、動画（ビデオ撮影等）についてはすべて禁止とします。

◆ 日程表 ◆

9月30日(金)

〔会場 工学院大学附属中学高等学校〕

12:30	
13:00	受付〔2階 エントランス〕
	◇開会式 〔会場 1階 大教室〕 司会 川本芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長代行 1. 開式 2. 主催者挨拶 一般財団法人日本私学教育研究所 理事長 吉田 晋 3. 視察校代表挨拶 工学院大学附属中学高等学校 校長 平方 邦行 4. 日程説明 工学院大学附属中学高等学校 教諭 田中 歩 5. 閉式
13:15	
13:25	◇研究授業 5時間目 ① 中学1年ハイブリッドインターナショナルクラスA1 授業者：中 川 千 穂 / Dwayne Nicholas King ② 中学1・2年ハイブリッドインターナショナルクラスA2 授業者：田 中 歩 / Derreck Ralls ③ 中学1・2年ハイブリッドインターナショナルクラスB1 授業者：高 橋 一 也 / Jon Otto ④ 中学3年C組 授業者：岡 部 憲 治
14:15	
14:30	◇実践発表 〔会場 1階 大教室〕 司会 外国語（英語）教育改革特別委員 テーマ 「21世紀型教育を超えて」 発表者 高 橋 一 也 工学院大学附属中学高等学校 中学教頭
15:30	◇分科会（中学校、高等学校授業者との質疑応答・意見交換） 〔会場 1階 大教室〕 研究授業・実践発表を受けての質疑応答の後、グループに分かれて意見交換を行います。 1. 質疑応答（15:30～16:00） 司会 山崎吉朗 一般財団法人日本私学教育研究所主任研究員 指導助言 工学院大学附属中学高等学校 英語科教諭 2. 意見交換会（16:00～17:00） ファシリテーター 外国語（英語）教育改革特別委員、山崎吉朗・主任研究員
17:00	

09:30	◇講演	〔会場 S202+S203〕 司会 外国語（英語）教育改革特別委員
	演 題 「グローバル時代における英語教師の役割」	
	講 師 鳥 飼 玖美子 NHK「ニュースで英会話」監修者	
11:00		
11:10	◇ワークショップ	
	テーマ 「英語で授業のヒント Teaching English in English（仮）」	
	※文部科学省「英語教育推進リーダー中央研修」受講者が担当します。	
	指 導 酒 井 眞希子 学 校 法 人 石 川 高 等 学 校 教諭	
	伊 澤 悦 子 駒 沢 学 園 女 子 中 学 ・ 高 等 学 校 教諭	
	田 中 歩 工 学 院 大 学 附 属 中 学 高 等 学 校 教諭	
	中 川 千 穂 工 学 院 大 学 附 属 中 学 高 等 学 校 教諭	
	池 口 勝 裕 米 子 松 蔭 高 等 学 校 教諭	
12:10		〔会場 A : S202+S203 / B : S204 〕
	◇昼 食 ※各ワークショップ会場	
13:00	◇ワークショップ	
	テーマ 「英語で授業のヒント Teaching English in English（仮）」	
	指 導 酒 井 眞希子 学 校 法 人 石 川 高 等 学 校 教諭	
	伊 澤 悦 子 駒 沢 学 園 女 子 中 学 ・ 高 等 学 校 教諭	
	田 中 歩 工 学 院 大 学 附 属 中 学 高 等 学 校 教諭	
	中 川 千 穂 工 学 院 大 学 附 属 中 学 高 等 学 校 教諭	
	池 口 勝 裕 米 子 松 蔭 高 等 学 校 教諭	
15:00		〔会場 A : S202+S203 / B : S204 〕
	◇意見交換会	
	ワークショップに関して、講師および参加された先生方で、質疑応答を交えながら意見交換を行います。	
	ファシリテーター 外国語（英語）教育改革特別委員／山崎吉朗主任研究員	
15:45		〔会場 A : S202+S203 / B : S204 〕
	◇閉会式	〔会場 S202+S203〕
	司会 川本芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長代行	
	1. 開式	
	2. 総括 一般財団法人日本私学教育研究所 主任研究員 山 崎 吉 朗	
	3. 閉式	
16:00		
	解 散	

※プログラムの内容等は変更となる場合があります。

※名刺をご持参下さい。

◆ 学校紹介 ◆

工学院大学附属中学高等学校 [理事長 高田貢／校長 平方邦行]

21 世紀型教育を行うことを目標とし、様々な角度から学びを育んでいる。工学院の 21 世紀型教育のポイントは大きく分けて 3 つに分かれている。

1 つ目は、グローバル市民として世界で活躍するために高度な英語力の活用を重視している。CEFR : C1 を高校卒業時の目標とし、コミュニケーション力やプレゼンテーション力の養成を重視した授業に英語を織り交ぜ展開している。

2 つ目に、双方向型のアクティブラーニングを PIL・PBL のような対話形式の授業とし、「生徒と生徒」「教師と教師」が互いの考えや発想を share しながら教師が interactive な授業を展開している。単純な知識の理解にとどまらず工学院独自の思考コードを用いて、適用・分析・統合・創造など知識の活用を重視した授業を展開している。これによって創造的思考力を養成し、自己肯定感を持った若者を育てている。

最後に、ICT を活用することによって innovative な教育の実践を行っている。2 つ目にあげた PIL・PBL のような双方向型の授業を進めていくにあたり、ICT が大きな威力を発揮している。

◆ 講師プロフィール ◆

鳥 飼 玖美子（とりかい くみこ） NHK「ニュースで英会話」監修者

NHK「ニュースで英会話」監修およびテレビ/ラジオ講師(2009～現在)。東洋英和女学院高等部在学中に AFS10 期生として米国ニュージャージー州に留学。上智大学外国語学部卒業。コロンビア大学大学院修士課程修了(MA in TESOL)、サウサンプトン大学大学院人文学研究科博士課程修了(Ph.D.取得)。立教大学教授(1997.4-2011.3)、立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科初代委員長(2002.4-2011.3)、立教大学特任教授(2011.4-2014.3)、東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化専攻客員教授(2007.4～2009.3)、順天堂大学特任教授/国際教養学部アドバイザー(2015.4-2016.3)、国立国語研究所客員教授(2013.4～2016.3)。

文科省ユネスコ国内委員会、中央教育審議会留学部会、大学設置審議会、国土交通省観光政策審議会等の委員、日本コンgres・コンベンション・ビューロー会長(2002-2008)、日本通訳翻訳学会会長(2004～2010)、AFS 日本協会理事(2001-2007)、AFS International Educational Council member(2010 -2015)等を経て、現在、内閣府政府広報アドバイザー、日本学術会議連携会員、(公益財団法人)中央教育研究所理事、国際文化学会常任理事。専門分野は言語コミュニケーション論、英語教育論、通訳翻訳学。近著に『本物の英語力』(講談社現代新書、2016)、『英語教育論争から考える』(みすず書房、2014)、『一貫連携英語教育をどう構築するか：道具としての英語観を超えて』(編著、東信堂、2014)等。

◆ 講師・発表者・指導員（順不同） ◆

鳥 飼 玖美子	N H K 「ニュースで英会話」監修者
平 方 邦 行	工学院大学附属中学高等学校 校長
高 橋 一 也	工学院大学附属中学高等学校 中学教頭
酒 井 眞希子	学校法人石川高等学校 教諭
伊 澤 悦 子	駒沢学園女子中学・高等学校 教諭
田 中 歩	工学院大学附属中学高等学校 教諭
中 川 千 穂	工学院大学附属中学高等学校 教諭
池 口 勝 裕	米子松蔭高等学校 教諭
吉 田 晋	富士見丘中学高等学校 理事長・校長
中 川 武 夫	蒲田女子高等学校 顧問

◆ 特別委員・指導員（順不同） ◆

平 方 邦 行	工学院大学附属中学高等学校 校長
浜 野 能 男	普連土学園中学高等学校 校長
田 中 歩	工学院大学附属中学高等学校 教諭
金 丸 紋 子	カリタス女子中学高等学校 教諭
吉 田 美和子	鹿児島育英館高等学校 教諭
川 本 芳 久	一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長代行
山 崎 吉 朗	一般財団法人日本私学教育研究所 主任研究員

◆ 参加申込み方法 ◆

- ① 申込み先

一般財団法人日本私学教育研究所・私立学校特別研修会担当 宛
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

② 申込み締切日 平成28年9月9日(金) 必着

申込みは先着順に受け付けます。募集人員を超えた場合は期日前でも締め切らせていただくことがあります（申込みを締切った場合は当研究所ホームページでお知らせする予定です）。

2. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。
「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。

◆ 参加申込後の注意 ◆

1. 参加費（19,000 円）は、「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」払込用紙で、指定されたコンビニエンスストアでお支払い下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきます。
2. 参加申込み後のキャンセル・欠席等については、必ず FAX にてご連絡下さい（FAX 送信後、当研究所から確認の連絡がない場合は必ず電話にてご確認下さい）。参加費のご返金・キャンセル料等は下記の取扱いといたします。

9月23日（金）・15時迄のご連絡	9月23日（金）・15時以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料1,000円を差引いた参加費を返金いたします。 参加費の返金については研修会終了後約1ヶ月かかる場合がございます。	参加費はご返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額（19,000円）を申し受けます。天変地異や自然災害によるキャンセルの場合は、状況により対応しますので、ご相談下さい。

◆ 個人情報の取扱いについて ◆

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報に厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また、何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合にのみ利用いたします。

○ 傷害保険について

本研修期間中の参加者等の傷害保険には、加入いたしませんのでご承知置き下さい。

◆ 会場案内 ◆

工学院大学附属中学高等学校



○JR あるいは京王八王子駅下車、各駅バス乗り場（JR は北口）より西東京バス「工学院大学西経由櫛原町行」、「工学院大学行」に乗車し、「工学院大学」、「工学院大学西」下車、徒歩 1～5 分。バス乗車時間は約 20 分。

リファレンス西新宿大京ビル貸会議室



東京メトロ丸ノ内線新宿駅より
1番出口より1分 / C12番出口より1分
E8番出口より1分

J R新宿駅より
西口改札を出て、東京メトロ丸ノ内線西新宿方面に
向かいA18番出口より5分

※新宿警察署向かいの1階にセブンイレブンの入っているビルの2階。※駐車場はありません。

FAX 03-3222-1683

平成 28 年度 全国私立中学高等学校 私立学校特別研修会
外国語（英語）教育改革特別部会【東日本エリア（東京Ⅱ）】参加申込書

平成 年 月 日

参加者氏名	(ふりがな)	職 名
	〔 男 女 〕	
参加者連絡先		教員勤務年数 ※
		年
メールアドレス*	☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。	受付番号記入欄（研究所記入欄）
参加者氏名	(ふりがな)	職 名
	〔 男 女 〕	
参加者連絡先		教員勤務年数 ※
		年
メールアドレス*	☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。	受付番号記入欄（研究所記入欄）

※英語教員としての通算勤務年数をご記入下さい。
*今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。

学 校 名			
	学校区分	1. 中学校 2. 高等学校 3. 中高併設校 4. 中等教育学校 A. 男子校 B. 女子校 C. 共学校（含む男女別学校）	
学校住所	〒		
	TEL	()	FAX ()
※上記参加者本人または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先・受取人氏名をご記入下さい。			
通 信 欄			

◇ FAX または郵送でお申込み下さい。